

令和7年度 全日制 1学期始業式 式辞

皆さんおはようございます。1学期の始まりということで、お話をさせていただきます。一昨日の新任式は2年生、3年生、入学式は1年生だけだったので、まずは全校生徒がそろった姿を見ることができて、とても嬉しい気持ちです。

今日は、急速に進歩する科学技術との向き合い方についてお話しします。皆さんは、最近話題になっている生成AIやチャットGPTを使ったことがあるでしょうか？私は、すごく興味をもっていて、できれば仕事にも使ってみたいと思っています。

例えば、AIの翻訳アプリがあれば、何語でも瞬時に訳して、音声で話してもくれます。もう、外国語の勉強をする必要は無いんじゃないかと思うほどです。ただ、確かに、話や文章の内容を正確に翻訳するにはとても便利ですが、国や民族、文化や習慣の違いからくる言葉のニュアンスや、言葉には表れない話し手の感情までは表現できません。

結局、内容を本当に理解するためには、行間に込められた思いを読み取って理解する「人間の力」が必要です。実際、企業間のやり取り、政治的な交渉など、繊細さが求められる場面では、必ず人間が通訳をしています。

チャットGPTを使えば進学や就職のときの志望理由書や小論文も短時間で作れます。大学でのレポートや研究論文、会社での企画書や報告書も簡単に作れるので、作業効率は大幅に上がります。確かに、ネット上の膨大な情報を活用することで、誰にでも簡単に、一見、「出来栄のいい」文章を作ることができますが、チャットGPTが作った文章には誤りが含まれている危険性があります。99%正しくても、1%の間違えば、論文や報告書としては致命的です。志望理由書や小論文も同じです。

結局、チャットGPTに適切な指示を与えたり、内容の間違いや嘘に気づいたりするための知識や技術、つまり「人間の力」が必要になります。

ここ数年の科学技術の進歩は「目覚ましい」というより「凄まじい」と言える状況です。皆さんがこれからの社会を生きていくには、この激しい変化についていかなければならないし、それをしっかりと使いこなせるようにもならなければなりません。今後、人間がAIに取って代わられる部分も少なくないとは思いますが、重要な部分には、必ず「人間の力」が必要です。しっかりと学んだ「人間の力」が不要になることは決してありません。

少し話は変わりますが、皆さんは、相当な時間をスマホに費やしていると思います。勉強や探究学習で調べ物をするときには、とても有効なツールです。友達とのコミュニケーションや情報発信にも大きな威力を発揮します。でも、AIと同じように、スマホについても、常に「使う人間の力」が試されているように思います。「SNSから得られる情報を鵜呑みにしてしまう」とか「洪水のように押し寄せる情報に溺れてしまう」というように、科学技術に振り回されることなく、目的をもって、自分の意志で適切に活用するよう心掛けてください。

AIをはじめとする様々な科学技術を使わずに勉強や仕事をする時代はもう終わります。繰り返しくなりませんが、最新の技術を正しく使いこなせる知識やスキルを身に付けるために、これからも、いろいろな場面をとらえて、様々な経験を重ねて、多くのことを学んで行ってほしいと思います。

いよいよ令和7年度が始まります。特に3年生にとっては進路を決める大切な1年です。まずは、それぞれが、それぞれに今学期の目標を設定して、それを実現するために、今、「何をすべきか」「何をしなければならないのか」をその都度「自分で」考えて実践してみてください。

今年度の学校生活が、皆さんにとって充実したものになることを願って、1学期始業式の話とします。

令和七年四月八日

青森県立田名部高等学校

校長 山田 昭